

2021年10月7日

報道関係各位

中部学院大学

2021年 プロ野球ドラフト会議について

中部学院大学（学長 古田 善伯）硬式野球部、坂田 怜投手（人間福祉学部4年）が「2021年プロ野球ドラフト会議」においてプロ志願届を提出しました。当日のドラフト会議における取材対応につきましては、報道機関の皆さまに控室を用意しました。また、もし指名を受けた場合は、以下のような流れを予定しております。なお、パブリックビューイングは予定しておりません。

記

- 日 時 2021（令和3）年10月11日（月） 16時00分～21時00分（予定）
- 場 所 中部学院大学 関キャンパス 本館棟2階 大会議室
（岐阜県関市桐ヶ丘2丁目1番地）
- メディア受付 本館棟1階（総務課）

【報道機関控室】

中部学院大学 関キャンパス 本館棟2階 大会議室
（16：00より会場への入場可能）

※はじめに総務課にて取材許可を得てください。

【取材会場】（プロ指名を受けた場合＝育成を含む）

中部学院大学 関キャンパス 本館棟2階 大会議室

坂田投手がプロ指名を受けた場合、決定から30分以内に、取材に応じます。

※出席者（坂田 怜 投手、硬式野球部 大西 淳史 監督代行ほか）

【プロフィール】

さかた・れい 1999（平成 11）年 9 月 13 日生まれ。埼玉県熊谷市出身。
小学校からソフトボールを始め、中学からは硬式野球（熊谷シニア）。正智深谷高校（埼玉）野球部を経て、2018（平成 30）年 4 月、中部学院大学人間福祉学部人間福祉学科に入学。本学硬式野球部では、大学 1 年秋にリーグ戦初登板で完封勝利。その後、大学 3 年になる時に、大動脈の根元が膨らんで破裂する「バルサルバ洞動脈瘤破裂」と診断され、昨年 4 月に手術を受ける。同年冬に監督からの勧めもあり、ナックルボールに挑戦。ブルペンで毎日 100 球の投げ込みを続ける。コントロールの正確さに加え、ナックルボールを武器に、緩急をつけながら打たせて取るピッチングが特徴。公式戦の通算成績は 5 試合 1 勝（防御率 岐阜リーグ通算 1.59）。身長 188cm、体重 90kg。右投げ右打ち。憧れの選手はナックルボーラーとして大リーグ通算 200 勝を挙げたティム・ウェイクフィールド投手。同投手のビデオを見て日々研究を重ねている。

（本件に関するお問い合わせ先）

中部学院大学 事務局長（担当：丹羽）

TEL：0575-24-2211 FAX：0575-24-0077